

## データベース・カード記入要項

- ①ふりがな：②のふりがな。
- ②名称：地区・遺跡または遺物の名称。
- ③都道府県：所在地・出土地の都道府県名。
- ④番号：都道府県内での整理番号。都道府県コード-番号であらわす。
- ⑤ふりがな：⑥のふりがな。
- ⑥所在地/出土地：所在地または出土地の住所（市町村名から記入）。
- ⑦市町村コード：市町村コード。
- ⑧北緯：所在地または出土地の緯度。
- ⑨東経：所在地または出土地の経度。
- ⑩情報提供先：情報を得た機関・団体・個人・文献などを記入
- ⑪種類：地区・遺跡の種類（遺物散布地・沈没船・集落跡など）。遺物のばあいには「遺物」と記入。
- ⑫時代：地区・遺跡および遺物の時代（詳細は※1を参照）。
- ⑬立地：地区・遺跡および遺物出土地の立地（海岸・海など）。水深もこの欄に記入。
- ⑭範囲：地区・遺跡および遺物出土地の範囲
- ⑮現状：地区・遺跡および遺物出土地の現状
- ⑯周知の有無：埋蔵文化財包蔵地台帳記載の有無
- ⑰遺跡番号：⑯が「有」のばあい、その番号。
- ⑱水中遺跡地名表登録番号：「日本の水中遺跡地名表」（文化庁2000）に記載があるばあい、その登録番号を記入。
- ⑲調査（内容）：調査の履歴を古い順に、番号をふって記入（調査期間・調査主体・面積等）。遺跡の内容を記入。
- ⑳遺物：地区・遺跡のばあいには、採集・出土した遺物の種類や詳細を記入。  
遺物のばあいには、その詳細を記入。
- ㉑遺構：遺構があれば、その詳細を記入。
- ㉒記録・遺物の保管場所：調査の記録類や採集・出土遺物の保管場所の名称と所在地を記入（複数のばあいにはすべて記入）。
- ㉓記録・遺物の管理者：調査の記録類や採集・出土遺物の保管管理者の名称と所在地を記入（複数のばあいにはすべて記入）。
- ㉔文献：関係文献（報告書・論文・図録等）を古い順に、番号をふって記入。
- ㉕特記事項：その他、特記すべき事項を記入。
- ㉖地図/図面：地図番号を記入。地図や図面があるばあいには、その内容（全体図・実測図等）を記入。
- ㉗写真：写真があるばあいには、その内容（撮影年月等）を記入。
- ㉘作成者：カード記入者名。
- ㉙原簿作成日：原簿を作成した日付。
- ㉚最終更新日：更新した日付。
- ㉛No.：整理用の番号を記入

## ※1 時代区分について

- ・「遺跡ウォーカーβ」(<http://www.isekiwalker.com/>) に準じている。
- ・以下の項目から該当するものを記入する。
- ・ただし、時代が多期にわたるばあいには、中世～近世というような記載も可とする。
- ・実年代が記入可能なばあいには、時代のあとに括弧づけで記入する。

原 始：旧石器 縄文 弥生 古墳 飛鳥白鳳

古 代：奈良 平安 古代細分不明

中 世：鎌倉 南北朝 室町 戦国 中世細分不明

近 世：安土桃山 江戸 近世細分不明

近・現代：明治 大正 昭和 平成 近現代細分不明

不 明